

学力向上は日々の授業の充実から

～ 主体的・対話的で深い学びの実現をめざして ～

◆ みやざきスタイルの英語の授業 ◆

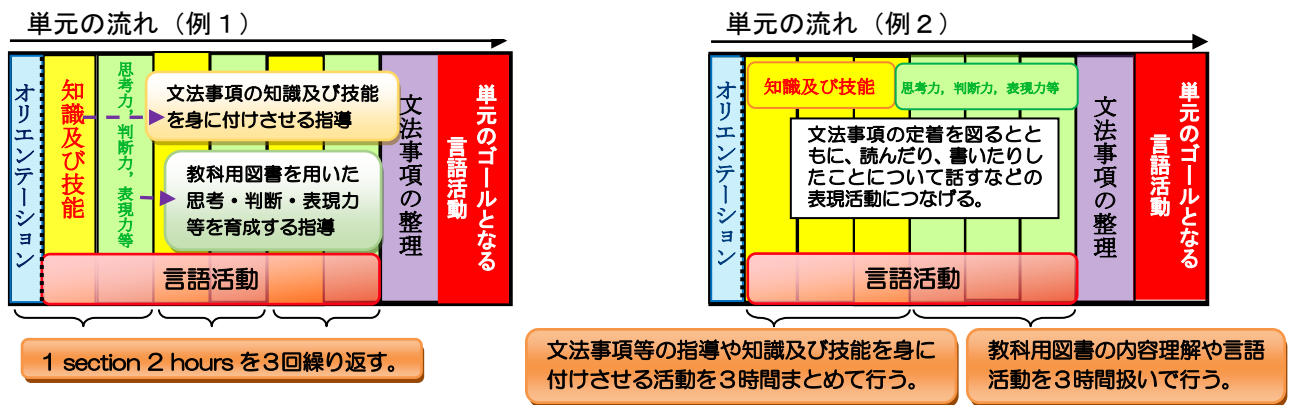
「言語活動の充実を通して4技能・5領域を総合的に育成する」授業

* 4技能・5領域・・・「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」

ポイント
1

各学年の目標を踏まえて、何ができるようになるかを明らかにし、単元の指導計画を立てる。

〔単元【8時間扱い】のイメージ〕



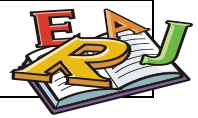
- 単元の指導計画は、各学年の目標や「CAN-DOリスト」等を踏まえて、適切に定めることが大切である。また、生徒に単元全体の見通しとゴールイメージをもたせて学習に臨ませることも大切である。

ポイント
2

1 単位時間の授業の中で、ねらいを明確にし、身に付けさせる力を中心に生徒の主体的な活動を展開し、ねらいに対する一人一人の達成状況を確認に見届ける。

授業で心がけたいこと	
導入	<p>「Today's Goal」を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校外国語活動・外国語科で学習している内容を把握し、小・中学校の系統性のある指導を行う。 ○ この時間に何ができればよいのかを生徒にしっかりと理解させ、見通しをもたせる。 ○ Oral Introduction や Small Talk、絵・写真・ICT等を効果的に活用し、生徒の関心・意欲を高める。
展開	<p>4技能・5領域を総合的に育成する指導を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の技能を関連させて指導することで、4技能・5領域を総合的に習得させ、コミュニケーション能力の育成を図る。 ○ 「見方・考え方」を働かせる必然性のある英語の使用場面を設定する。 ○ 「思考力、判断力、表現力等」を育てるために、コミュニケーションを行う目的・場面・状況に留意した言語活動の場を設定する。 ○ Small Talkなど、即興性を重視した言語活動を行う。
終末	<p>ねらいの達成を確実に見届ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「Today's Goal」が達成されたかを確実に把握する。 ○ 次時の学習内容や学習活動につながる課題等を提示し、生徒の学習意欲を高める。 ○ 評価を教師の指導改善と生徒の学習改善に生かす。





指導上の留意点

1 新出表現や文法事項等との出合わせ方

- 文法については、既習事項と比較させたり、具体物や多くの絵、例文を提示したりすることで、使用される場面や、意味、文構造について推測させる。
- 小学校の外国語活動・外国語科において取り組んだ活動を導入で取り入れることにより、小学校の学習を想起させ、中学校の学習へとつないでいく。

(例) ★中学校英語入門期：「キーワードゲーム」、「ポインティングゲーム」等の活動を入れる。

★小学校外国語活動・外国語科の教材の活用：「いくつ?」、「道案内」、「レストランでの注文」等でデジタル教材を活用する。

★小・中で連携して：小・中学生の「自己紹介」や「将来の夢」についてのスピーチを録画したり、発表を行ったりする。

2 「Today's Goal」の提示のタイミング

「知識及び技能」の定着を目標とした授業例

- ・ 導入の工夫を行い、使用される場面や、意味、文構造について推測させた後、「Today's Goal」を提示する。

「思考力、判断力、表現力等」の育成を目標とした授業例

- ・ 前時の復習等の活動後、すぐに「Today's Goal」を提示し、ゴールイメージをもたせるとともに、学習の流れ、学習方法の見通しをもたせる。

「4技能・5領域を総合的に育成する」指導とは？

コミュニケーション能力を育成するために、複数の技能を関連させて指導することを通して、総合的に4技能・5領域を習得させていく指導。

指導上の留意点

1 4技能・5領域を総合的に育成する指導

- 「聞くこと」「読むこと」を通じて得た知識等について、自らの体験や考えなどと結び付けたり、自分の感想や意見を付け加えたりする場面や、計画的に設定する。
- 聞いたり、読んだりした内容の内容を、理解にとどめることなく、自分の感想や意見、理由などをもとに、Small Talk やスピーチ、ディベートを行うなど、言語活動を充実させる指導を行う。

「読んで書く」(例)

- ・ 英文を読んで、英文が意味する単語を書く。
- ・ 英文を読んで、内容を英語で要約する。
- ・ 英文を読んで、感想や自分の考えを英語で書く。

「聞いて書く」(例)

- ・ まとまった英文を聞いて、メモを取り、読まれた内容を要約する。
- ・ 英語のアナウンスを聞いて、その要点を書いて伝える。

2 「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせることが重要

- 与えられている場面や条件(図や表、グラフ等)から、表現に必要な情報を取り出し、整理して、自分の言葉で表現する力を育てる指導の充実を図る。

3 その他の留意点

- ★ 少人数指導等の指導を行う際も、習熟の時間や自己表現の時間を多く取るなどの学習集団に応じた工夫を行う。
- ★ 構造的な板書を心がけ、授業終了後、復習などに使用することを意識したノート指導もあわせて行う。

